

中国僑郷におけるフィールドワーク ～ハルビン市方正県の事例～

山下 清海

科研費と研究成果

基盤研究(B)[海外学術調査] 2006～2008年度(研究代表者:山下清海)
「増加する華人ニューカマーズの中国における送出国プロセスの解明」

基盤研究(B)[海外学術調査] 2009～2012年度(研究代表者:山下清海)
「中国における日本への新華僑の送出国システムに関する研究」

山下清海・小木裕文・松村公明・張貴民・杜国慶(2010)
福建省福清出身の在日新華僑とその僑郷. 地理空間 3(1):1-23.

山下清海・小木裕文・張貴民・杜国慶(2012)
浙江省温州市近郊青田県の僑郷としての変容. 地理空間 5(1):1-26

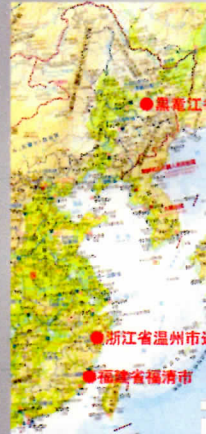
4

これまでの発表内容

- ◆2011年3月3日
「エスニック地理学とフィールドワーク」
 - I. フィールドワークの重要性
 - II. 海外のフィールドワークの事例
 - 1. 中国僑郷(華僑の故郷)のフィールドワーク
 - 2. イタリアのチャイナタウンのフィールドワーク

- ◆2012年3月8日
「エスニック地理学とフィールドワーク」
 - I. フィールドワークの重要性
 - II. 池袋チャイナタウンにおけるフィールドワークの実践と課題

2



伝統的な「僑郷」
浙江省, 福建省,
広東省, 海南省



方正県
「中国北方僑郷」
在日新華僑の僑郷

山下清海(2002):『東南アジア華人社会と中国僑郷—華人・チャイナタウンの人文地理学的考察—』古今書院
→福建省・広東省・海南省の老華僑の僑郷に関する研究

5

本日の発表

中国におけるフィールドワークの困難性



どのように対処したらよいか



方正県におけるフィールドワークの実践から考える

中国僑郷におけるフィールドワーク
～ハルビン市方正県の事例～

3

方正県調査

2010年8月 ハルビン市方正県(予備調査)

→中国帰国者家族との出会い

2011年8～9月

満蒙開拓団員慰霊碑撤去問題
により計画変更

→黒竜江省牡丹江市
佳木斯市, 鶏西市





方正県農村部における
聞き取り調査



方正県の概要

ハルビン市の管轄下の県

→行政的には、「ハルビン市方正(ほうまさ)県」

ハルビン市中心部の東、約180km

松花江の中流の南岸に位置

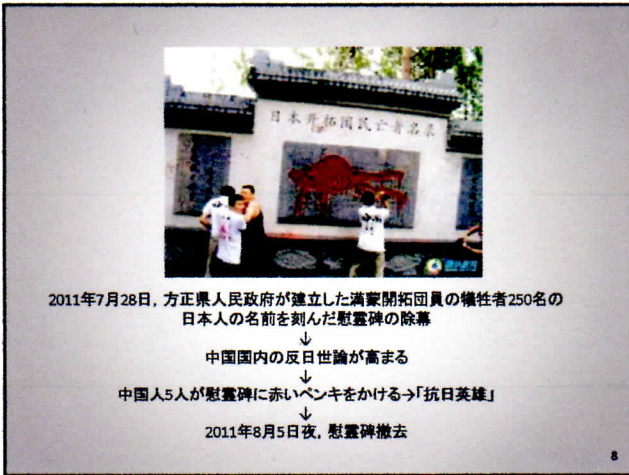
人口26万、面積3,000km²で、7割は森林

水稲作が盛んな農村地域

海外在留の華僑・華人 4.2万人

帰国華僑・親族 6.8万人

10



2011年7月28日、方正県人民政府が建立した満蒙開拓団員の犠牲者250名の
日本人の名前を刻んだ慰霊碑の除幕

↓
中国国内の反日世論が高まる

↓
中国人5人が慰霊碑に赤いペンキをかける→「抗日英雄」

↓
2011年8月5日夜、慰霊碑撤去

8

方正県と日本

1931年の満州事変 → 満蒙開拓団の入植開始

1945年8月の終戦時 → 周辺地域から開拓団の老人、婦女、

子供など1.5万人あまりが、方正県内の開拓団本部に避難

約5,000人が死去し、約4,500人の婦女、子供が方正県に残留



旧満蒙開拓団「本部」が
あった場所

11

方正県調査

2010年8月 ハルビン市方正県(予備調査)

→中国帰国者家族との出会い

2011年8~9月 満蒙開拓団員慰霊碑撤去問題により計画変更

→黒竜江省牡丹江市、佳木斯市、鶏西市

2012年8~9月 方正県(本調査)

方正県帰国華僑联合会、日本語学校、中日友好園林、
中国残留日本人、在日新華僑の留守家族

日本国内→中国(方正県)帰国者家族

9

僑郷としての特色

方正県の行政側

→僑郷の特色を活かして、日本からの投資を
呼び込む都市再開発計画

方正県の中心市街地における店舗の看板
に日本語併記

12



13

日本人との国際結婚

満蒙開拓団員の中国残留日本人の帰国
家族同伴で日本に定住



方正県で結婚相手を探す
日本渡航希望者→日本人男性との結婚
未婚男性に方正県の知人女性を紹介

16

「方正大米」

日本の援助による高度な寒冷地稲作農法を導入



方正県は中国有数の水稲作地帯



「方正大米」(「大米」は日本語の米の意味)
中国国内でブランド米

14

中国におけるフィールドワークの 困難性

信頼できる数量的データの不足, 入手困難
「敏感的問題」に対する警戒心の強さ
日中関係の政治的状況が調査環境に影響



コネクション(中国語で「関係」)の重要性
中国人研究者の同行

17

